

⑪ 京都縦貫自動車道（丹波綾部道路）建設事業

受賞機関

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所
京都府道路公社

<評価>

丹波綾部道路は、平成5年度に事業化され、順次部分供用を行いながら平成27年7月に全線が開通した。これにより、京都縦貫自動車道としても全線が繋がり、既存開通区間の交通量が7割増加し、京都北部観光地来場者数が3割増加した。観光滞在時間の増加、周遊範囲の拡大、観光消費額の増加など、観光の活性化に寄与している点が評価された。

はじめに

京都縦貫自動車道は、南北に長い京都府を縦貫し、宮津市から久世郡久御山町に至る延長約100kmの高規格幹線道路である。丹波綾部道路は、京都縦貫自動車道の一部を構成する29.2kmの道路で、平成5年度に事業化され、これまでに綾部JCT～京丹波わちIC間（10.3km）が開通^(※)しており、平成27年7月18日に残る京丹波わちIC～丹波IC間（18.9km）が開通^(※)した。
(※) 暫定二車線

事業の概要・成果

段階的な開通に伴い京都府北部への移動時間が短縮し、地域の観光客数や観光消費額が増加するとともに、沿線における企業立地が進み製造品出荷額や京都舞鶴港の取扱貨物量が増加している。平成22年から平成26年までの企業立地に伴う経済波及効果が約710億円にのぼると試算している。また、開通後においても夏季観光シーズンにおける主要観光地への来場者数が約3割増加し、滞在時間や訪問箇所数、観光消費額が増加するなど、地域観光が活性化するなどの整備効果があらわれている。



丹波綾部道路 京丹波わち～丹波

おわりに

今後も京都府北中部地域の観光産業をはじめとした地域経済の動向に注目し、ストック効果の検証を行い発信していくこととする。

賛助会員 (株)安藤・間、いであ(株)、(株)エイト日本技術開発、株木建設(株)、川田建設(株)、(株)橋梁コンサルタント東京支社、(株)建設技術研究所、公成建設(株)、(株)鴻池組、五洋建設(株)、佐藤工業(株)、世紀東急工業(株)、セントラルコンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)長大、(株)千代田コンサルタント、東亜道路工業(株)、(株)東京建設コンサルタント、戸田建設(株)、日本道路(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、復建調査設計(株)、前田建設工業(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三井住友建設(株)、(株)横河ブリッジ

⑫ 倉敷大橋建設事業

受賞機関 倉敷市

<評価>

この事業は、旧船穂町・旧真備町と合併した倉敷市の「新市の一体化の推進」の集大成として、船穂地区・真備地区から高梁川を越えて倉敷市中心部を結ぶ新橋建設である。橋梁の設計段階で維持管理のしやすさを考慮した点や、周辺自然環境に溶け込むような景観への配慮が評価された。

はじめに

平成17年8月1日に旧船穂町・旧真備町と合併した倉敷市は、高梁川を隔てて旧2町を結んでいる川辺橋・船穂橋の慢性的な渋滞が課題となっていた。そのため、合併を契機に渋滞を解消して倉敷市中心部との時間的距離の短縮を図ることで、人・もの・歴史・文化の交流を促進し、倉敷市を一つにする懸け橋として新橋梁（橋長512.2m・全幅員12.0～15.0m）を計画した。

事業の概要・成果

新架橋の上部工形式は、5径間連続非合成鋼箱桁橋で細幅箱桁を採用したが、一般的な細幅箱桁は桁幅が小さく通行性に劣るため桁内の作業性が悪いという課題がある。設計段階にあたり、コスト重視の細幅化は行わず、維持管理の効率化の観点から桁内部を人が通行可能な断面（箱桁下部幅2.0m）を確保するとともに、断面変化を極力抑え、桁内部の点検が容易に行える断面を設定した。また、桁は耐候性鋼材を使用し、保護性さびを均一に形成させる錆安定化処理も実施することによりミニマムメンテナンス化を実現した。



【倉敷大橋】

架橋地点は、景観法に基づく「倉敷市景観計画」において、高梁川と八幡山周辺の豊かな自然景観が存在する景観形成における重点地区（景観拠点）であるため、既存の自然景観の保全に配慮して周辺のさまざまな視点からみても印象が変わらないよう、橋桁の一部に周辺風景と調和するY系（黄色及び緑色がベース）の色彩の錆安定化処理を施した。その結果、四季それぞれの素晴らしい景観に溶け込み、市民にも好評を博している。

おわりに

この橋梁は、倉敷市が高梁川に架ける初めての橋であり、橋名を市民公募で『倉敷大橋』に決定した。開通式典では約1,200人の市民が渡り初めに参加し、倉敷市の発展に寄与する懸け橋が平成28年1月24日盛大に開通した。